

令和3年度 学校経営計画

1 学校教育目標

豊かな心と主体的に生きる力を養い、自立と社会参加を実現できる人間を育成する。

2 学校の特徴

本校は、肢体不自由養護学校として県内で最も早く設置された学校である。現在、小学部、中学部、高等部の肢体不自由の児童生徒と高等部には軽度知的障害のある生徒も在籍し共に学んでいる。通学して教育を受けることが困難な児童生徒のために、家庭に出向いて訪問教育を行っている。肢体不自由の障害の実態に合わせた校内環境の充実、給食の食事形態の工夫、医療的ケア等を実施しており、通学支援としてスクールバスを運行し寄宿舎が設置されている。

児童生徒一人一人の障害の状況や教育的ニーズに応じて「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成・活用し、きめ細かな指導・支援に努めるとともに、生きる力を育み、学校生活において学んだ知識や技能を日常生活においても活かせるよう授業実践に取り組んでいる。また、各種行事や校外学習等を通して社会経験の拡充を図ったり、関係機関と連携したりしながら、児童生徒一人一人の卒業後の豊かな生活を目指したキャリア教育の充実に努めている。さらに、交流及び共同学習（居住地校交流、学校間交流）を行い、児童生徒の人間関係づくりと地域生活支援を積極的に進めている。

3 学校の現状と課題

(1) 現状

- ・新学習指導要領では、各学校でカリキュラム・マネジメントに努めることや「主体的・対話的で深い学び」の実施に向けた授業改善を推進することが求められている。昨年度までは「育てたい力」を基に「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点から学習内容表を作成した。今年度は、各学部で作成した学習内容表を基に、他教科、他の授業とのつながりを考えて、授業実践、授業改善に取り組んでいく。そして、授業実践から本校の年間指導計画の見直しも行っていきたい。
- ・保護者は、我が子の学校卒業後の進路に関する関心は高いが、必要とする情報収集を十分には行えず、不安に感じたり、戸惑ったりしていることがうかがえる。保護者や児童生徒が求める進路選択や進路決定のための情報は何かを把握し、年齢段階に応じた情報提供や情報交換を行ったり、情報発信の方法を工夫したりする必要がある。
- ・学校のホームページ（以下HP）は、児童生徒や保護者、教職員、そして本校のことを知りたいと閲覧する人が得たい情報を得るための手段の一つである。閲覧者には学校の概要や各学部の行事等の様子だけではなく、幅広く、時期に応じて情報を得たいというニーズが潜在していると思われる。そこで、定期的に更新して、新しい情報を発信するだけでなく利便性を高め、現在の社会状況に応じたHPの活用方法を検討していく必要がある。

(2) 課題

- ・学習内容表に基づいた授業実践、授業改善
- ・ニーズに応じた進路に関する情報発信の充実
- ・学校HPの充実とニーズに応じた情報発信